

第5章 魅力向上まちづくりの基本方針

1. 全市的な都市づくりにおける本地区の役割

1) 氏家市街地における拠点形成

- ・総合計画、進化プラン、都市計画マスタープランなどの上位計画において、氏家市街地が担う役割は、生活環境の向上により市民の豊かな“暮らし”を実現すること、中心市街地としての魅力と観光行動の環境を構築することであり、これによって持続可能な都市づくりを実現します。
- ・特に進化プランにおける「氏家豊かな暮らしゾーン」は、公共交通の要衝である氏家駅を中心に、本市の魅力を大いに向上させることができる市街地空間です。
- ・その範囲には、

- | | |
|-------------|--|
| ●交通結節拠点 | : 氏家駅と駅前広場による公共交通の中心 |
| ●行政・文化・交流拠点 | : 市役所、体育館、公民館等の公共サービスと市民活動の中心 |
| ●街なか観光交流拠点 | : 県文化財瀧澤家住宅の活用による観光資源の中心 |
| ●街なか避難拠点 | : 体育館・公民館のほか、氏家小学校・さくら清修高校との連携による市街地内避難行動の支援 |
| ●地域医療拠点 | : 既存病院施設による地域医療の中心 |
| ●緑地交流拠点 | : ゆうゆうパークやさくら市ミュージアム等の自然・文化による交流の中心 |

等の特色ある拠点があり、それぞれをネットワークすることで市街地の魅力向上に繋げていくものです。

- ・本市の中心商業地としての役割を担う本地区は、公共交通結節点と各拠点をつなぐ重要な位置にあります。

2) 氏家市街地におけるネットワーク形成

- ・暮らしやすさと市街地の活性化のためには、駅を中心とするコンパクトシティの実現が求められますが、氏家駅1km圏には氏家市街地が概ねカバーされて、主要な拠点もその中に収まっています。
- ・氏家駅より東側の市街地では、改良済・概成済となっている都市計画道路により基本的なネットワークは構築されている状況であり、また、国道・県道等により市内の各地域や周辺市町との基本的なアクセス性も確保されています。
- ・したがって、本市のコンパクトシティ形成のための環境づくりのためには、(都)氏家喜連川線のうち未改良・未概成である氏家駅・上町交差点区間における交通の円滑化が重要な取組となります。

- ・当区間の整備により氏家駅と各拠点のつながりが強化されることで、市民や来訪者の交流機会増加で街なかのにぎわい促進が期待出来ます。
- ・以上から、本地区における（都）氏家喜連川線を「街なか交流軸」として位置づけ、地区や市域としての暮らしとにぎわいの向上に役立てます。

【街なか交流軸の役割】

- 旧市街地の骨格を形成するクロス軸
- 「交通結節拠点」「行政・文化・交流拠点」「街なか避難拠点」「街なか観光交流拠点」「地域医療拠点」等の市街地の主要機能を連携
- 特に氏家駅東口周辺は街なか商業の中心的地域（街なか商業活性化エリア）であり、さくら市玄関口にふさわしいシンボリックな顔として機能



- （都）氏家喜連川線の未整備区間の解消による拠点ネットワークの向上に合わせて、沿道環境形成を図ることで商業地としての魅力再生を展開

2. 基本目標と将来の姿

1) 魅力向上まちづくりの基本目標

『 さくら市での 暮らしを楽しむ 魅力ある小都市^{まち} 』

- ・子どもから大人まで楽しめる駅前の魅力を高めます
- ・本地区の魅力が起点となって街なかの暮らしやすさを向上させます
- ・本地区の魅力がきっかけとなって市全体の観光や交流活動を活性化します

2) 「さくら市での暮らしを楽しむ魅力ある小都市^{まち}」の将来イメージ

- ・駅前広場の再整備と（都）氏家喜連川線が街なか交流軸として新しく整備されたことで、駅への移動が容易になり、朝夕送迎の渋滞が緩和されました。広い歩道も出来たので、小中学生や高校生も安心して笑顔で通学しています。
- ・街なか交流軸の沿道には新たな交流施設が建てられ、毎日、子どもから大人まで多くの利用者でにぎわい、お昼時には近くのお店で食事や買い物をするなど、新たな人の流れが生まれています。
- ・街なか交流軸の一角や空き地・空き家だった土地には念願のコンビニやスーパーがオープンし、特に高齢者には「いつでも歩いて買い物ができる」と好評です。
- ・昔から市民に親しまれてきた琴平通りは、歩行者が主役のきれいな道路となり、街角広場としての滞留空間も整備され、どのお店にもものれんが掛けられるなどの一体感があり、ぶらりと歩きたくなる商店街に変わりました。どこか懐かしさを感じる雰囲気は観光客にも注目され、瀧澤家住宅や喜連川温泉などとともに人気スポットになっています。
- ・街なか交流軸が完成したことで県道氏家停車場線の通過交通量が少なくなり、道路舗装も新しく歩きやすくなったことから、散歩をする人も増えました。
- ・街なかに人出が戻ってきたことで、お店の元気な後継者や新しく若い出店者も増え、特にお洒落なお店は若者や子育て世代に人気です。
- ・大雨時に冠水していた道路も速やかに排水できるように整備され、狭かった生活道路も少しずつ広がったことから緊急車両もスムーズに通行出来るようになり、暮らしの安心感につながっています。
- ・生活環境が良くなったことで、住宅を建替える人も増え、空き家に引っ越してくる家族もあり、きれいでいきいき感のある街並みになりました。
- ・本地区の魅力が向上したことで、地区周辺では空き地が住宅開発されるなど、新たな定住人口の確保においても好循環が生まれています。

3. 魅力向上まちづくりの方向性

・「さくら市での暮らしを楽しむ魅力ある小都市」の将来イメージの実現に必要な施策や取組イメージを、次のように設定します。

ターゲット	魅力向上まちづくりの方向性	取組イメージ
居住者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利便性の高い交通拠点の形成 ・ 安全で円滑な道路環境の構築 ・ 防災と景観の向上のための建築物の更新 ・ 空き家・空き地の抑制と利活用 ・ 雨水排水対策の促進 ・ 定住人口の維持 ・ 地域コミュニティの維持 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前広場の再整備 ・ 都市計画道路の整備 ・ 生活道路の整備 ・ 電線類地中化の促進 ・ 雨水排水施設（幹線）の整備 ・ 住区基幹公園の整備 ・ 密集老朽化住宅の建替促進 ・ 空き家、空き地の活用 ・ まちづくり協定等による緑化・景観誘導
特に高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全な移動環境の形成 ・ 地域コミュニティへの参加促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前広場の再整備（バス等利用促進） ・ 都市計画道路の整備 ・ 既存道路のバリアフリー化 ・ 住区基幹公園の整備 ・ 高齢者世帯住み替えに対する公的支援 ・ 子ども見守り・緑化等の活動促進
商業者	<ul style="list-style-type: none"> ・ まちの顔づくりによるにぎわいの形成 ・ 次世代が主役となる街なかの継承 ・ 特色を生かした商業地の更新 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 滞留空間の整備 ・ 街なかマーケット等イベントの運営 ・ 店前景観の整備 ・ チャレンジショップの運営 ・ 若手開業希望者の育成
駅利用者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 鉄道・バス利用時の円滑性の向上 ・ 利用者ニーズに合う飲食業の継続・誘導 ・ 交流・学習等による滞留機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前広場の再整備 ・ 都市計画道路の整備 ・ コンビニエンスストアの誘致 ・ 街なかカフェの増加 ・ 駅前学習室の提供（複合化）
買い物客	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最寄り品等の買い物環境の改善 ・ 高齢者に配慮した買い物環境の改善 ・ 飲食店・小売店等の維持とブランド化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ スーパーマーケットやドラッグストア誘致 ・ コンビニエンスストアの誘致 ・ おしゃれな街なか飲食店・雑貨店等の誘致
若者・子育て世代	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流や子育てに連動した滞留人口の獲得 ・ 街なか活性化拠点の形成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ さくらテラス交流イベントの実施 ・ 市民活動支援センター再整備（複合化） ・ 氏家保育園の再整備 ・ 子育て支援施設の新設（複合化） ・ 活性化複合施設（図書館を核に）
来街者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前景観によるおもてなし（期待感アップ） ・ さくら市観光ブランド力の強化 ・ 氏家市街地観光を誘客する拠点の強化 ・ 喜連川観光への誘導の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅前広場の再整備 ・ 都市計画道路の整備 ・ 街並み・家並みの誘導 ・ 琴平通りおもてなし空間整備事業の推進 ・ さくらテラス観光 info 機能の強化 ・ 観光協会との連携イベント ・ 観光ウォーキングコースの設定・整備 ・ 観光温泉バスの利便性向上